

平成24年度 第2回 別府市立図書館協議会 会議録（要約）

【日 時】 平成24年8月28日（火） 午前9時～午前10時

【場 所】 別府市役所5F－1会議室

【出席者】

〈委 員〉 土岐 修 委員長、立川 敬子 委員、秋月 順一 委員、
石川 順一 委員、高橋 伸子 委員

〈事務局〉 寺岡教育長（あいさつ後退席）、本田生涯学習課長
溝部参事、柏木課長補佐、岩本図書館長、小松副館長、宮原主任

【欠席者】 佐藤 慶子 副委員長、大林 みどり 委員、石井 保廣 委員

○開会あいさつ等（事務局の出席委員確認後開会）

（会長あいさつ：土岐会長）

皆さんおはようございます。足元の悪い中、皆様方には、急遽お集まりいただきありがとうございます。新しい図書館構想について、先行きは不明確のままでございますが、先月25日に、今年度第1回図書館協議会として、宇佐市民図書館見学と豊後高田市新図書館建設にあたっての、基本計画から建設に至るまでの経緯等を研修したばかりでございます。豊後高田市の図書館については、建設中でしたが、広さが体育館3倍程ということで、別府市にも新しい図書館として、同規模のものが欲しいという気持ちが募る思いでした。

本日は、別府市立図書館について、改修基本計画の素案ができましたで、計画策定に入る前に、皆様方のご意見をお聞きし、より良い別府図書館の改修が出来ればと、本日の開催となった次第です。

私、協議会の会長として3年になりますが、別府市立図書館運営の課題については、未だ以て新図書館構想が完全になくなったのか、そうでなければ今後どのような市立図書館として運営を考えていくのか不明であり、現状のままでどのような改修を行っていくのか、心配でございます。新しい図書館作りを目指すのが図書館協議会の大きな筋ですが、昨年2月の協議会の中で本田課長より、今年度中に改修の基本計画を行うとの説明を受けておりました。

その中で、一階部分をどの程度図書館で使用できるのか、それと現状の図書館のレイアウトをどのように変更することができるのか、スペースを効率的にするために専門家に改修委託をお願いするとのことでした。

その素案ができたとの事で、今回、教育委員会の方向性を伺いながら、図書館運営について委員の皆さまのご意見をいただきたいと考えていますのでよろしくお願いします。

(教育長あいさつ：寺岡教育長)

おはようございます。平素から別府市立図書館についてご指導頂いておりまして、お礼申し上げます。数年前から新しい図書館建設について、議会から強く要求されていますが、財政上の問題から、進展しておりません。現状の図書館の状況、市民状況等を勘案しながら一歩でも前進できればと考えています。

私、個人的には、別府市に豊後高田市、宇佐市のような充実した図書館が出来ればと思います。話は色々ございますが、一步一步進めて市民の声を議会等に反映させていかねばならないと思っています。

本日は、改修の基本計画策定の報告書をもとに、別府市立図書館について、厳しいご指摘等があれば、幸いです。

<寺岡教育長、他の公務出席のため退席>

【報告第1号：平成24年度の別府市立図書館改修基本計画策定】

(本田生涯学習課長：以下、本田課長)

報告の「第1号市立図書館改修基本計画策定」について、最初の基本計画についてですが、今年2月に開催された、平成23年度の第二回図書館協議会の中でわたくしの基本的な考え方等について説明をいたしました。

新年度になりまして、7月30日に平成25年2月28日まで、株式会社図書館総合研究所（以下、図書館総研）と業務委託契約を締結いたしました。図書館総研は図書館設計・建設から運営計画等の図書館作りの様々な段階でのコンサルティングをしており、県内では、豊後高田市の図書館基本計画、大分市の複合文化施設の経営コンサルティングの実績を持つ会社でございます。

本日は、改修基本計画の素案が出来ましたので、図書館総研より、野田取締役がおみえになっております。

これから、素案について、ご説明をしていただき、委員の皆様方のご意見を伺いたいと考えております。そのご意見を今後も計画策定にフィードバックしていきたいと考えています。

(図書館総合研究所：野田取締役) ※資料参照

生涯学習課別府市立図書館の改修計画の相談を受けまして、先日契約が成立しました。それに伴いまず現場を拝見し、構造図、竣工図にてわかる範囲で改修に伴う検討事項、考慮事項を抽出しています。

最初のページには、一階、二階の改修についての考慮事項となっており、簡単にご説明します。まず一階の既存ホールの事務室間仕切り撤去について、ゾーニングを変更し、間仕

切り壁を新設しなければなりません。屋内には、消火栓があるので、移設・増設の可能性があります。所轄消防署との協議が必要になります。また、火災報知機とスプリングクラー等についても移設・増設しなければならないといけないので、これも所轄消防署と協議が必要になります。分割後について、照明（照明点灯回路）・空調の検討が必要となります。

一番問題になるのは、用途変更に伴う、床耐荷重の負担が大きな課題になります。これの件については、後ほどお話しいたします。

次に二階について、考慮事項が何点かあります。現状間仕切壁撤去（１）についてですが、この壁は、厚さ１５０ミリのコンクリート壁になっており、おそらくは構造負担のない壁と憶測されます。撤去になればもう一度構造図を詳細に検討することが必要になります。

現状間仕切壁撤去（２）については、構造と関係ない乾式間仕切壁（パーテンション）なので、撤去可能となります。

現状間仕切壁撤去（３）については、撤去可能ですが、ゾーイングによって撤去の要否の検討が必要になります。

また二階改修についても、照明点灯回路、空調、消防設備の検討が必要になります。

今回叩台としまして、２案用意しましたので、次のページをご覧ください。まずＡ案です。一階をどのように使用するかですが、一階を集密移動棚で集中配置した閉架書庫とする案は、天井高より６段の書棚として、収容冊数は、約９０，３６０冊（３０冊／棚にて算出）、床耐荷重は、１．５ｔ／㎡程度の荷重となるので、床スラブおよび梁補強の検討が必要になります。これはかなり重要なことで、建築費にも響いてくるところであります。Ａ案の２階ですが、一般・児童書を集中的に配置する案です。児童については現状間仕切りを有効に利用し、一般開架との分離独立をさせ、音の問題、声の問題等の騒がしさの分節を図ることができる案です。

次に現児童室間仕切りを改変し、お話の部屋を設定するという事で、二階の案をつくっています。

この場合について、本当に配置がこれでいいのか、委員の皆様にご検討をいただこうと考えています。こういうものを考えてほしいとか、こういうものが欲しい等のご意見をお聞きしたいと思っています。

次にＢ案です。これは、先程の一階のスペース（ホール側に）児童閲覧室を設置する案です。ただこの場合は、児童コーナーにスタッフの配置が必要となり、このスペースは明かりが足りないので、窓からのやさしい光の入る児童室はなりにくいです。

また、奥側の集密移動棚を集中配置した閉架書庫については、天井高より、６段の書棚での計画にて、収容冊数は約３５，２８０冊（３０冊／棚にて算出）、床耐荷重 １．５ｔ／㎡程度の荷重となることを想定し、床スラブおよび梁補強の検討が必要となります。この点は、Ａ案もＢ案も同じであります。ただ、Ａ案との違いは、一階書庫を残して、一般開架を配置しています。新聞・雑誌・（ＡＶコーナー）をロビー側に、郷土資料と一般開架

と旧開架室側に設けます。この場合は、『現況間仕切壁撤去（３）』のメニューを適応してもいいとしています。

簡単に現地を何回か見て、構図をみた範囲で、懸念される点、課題点を示し、協議会委員のご意見を伺い、皆様のご要望にそった形で修正したいと思っています。また我々は、他の図書館計画や色々な事業の経験を参考にし、お手伝いをしたいと思っています。

事例として、山梨県某市の幽霊ビルを市が買い取り、図書館・子育て支援・ホール等の複合施設とする改修計画を弊社はお手伝いしています。そこで大変だったのが、床耐荷重でした。その経験をもとにご支援できればと考えています。

（土岐会長）

それでは本田課長、業者の方による市立図書館改修基本計画策定の説明がありましたが、質疑に入りたいと思います。質疑や意見のある方はお願いします。

（立川委員）

現在の図書館で運営していくのか、別の場所に新館をつくるのか、まだ方向性が定かでない中、改修の話を進めると、将来の図書館が現状の図書館のまま、進んでいくことになるのではないかと心配します。

（土岐会長）

今回は、改修案に対する図書館協議会の要望なので、新しい図書館の話は、改修をしたからしない等の話ではありません。図書館協議会としては、新しい図書館を目指すとなっているので、その点について、本田課長説明願います。

（本田課長）

新図書館について、新しい総合計画が出来きましたが、その中で、建設について「検討する」という位置づけです。現実的にいきなり新しい図書館の話となると、財政面にて難しい所です。しかし、現状のまま蔵書数の問題、スペースの問題を放置することはできません。この件で、再三協議してきた中で、今回の改修となり、こういったやり方ができるのか、こういった費用がかかるのかを、今回の計画で明らかにしていきたいと思っています。

但し、結果がでても、それを受けて即事業を実施するかは、別の問題です。来年２月末の計画が出来たのち、再度市当局と我々が協議する中で、どういう市立図書館の形として管理運営するかの方角性で話をしていかなければならないと考えています。

今回の会で、素案を決めるというわけではありません。委員の皆様から、ご意見、要望を伺って、計画の中にフィードバックし、よりよい改修計画を作るという位置づけとしています。

(土岐会長)

本田課長の説明のとおり、改修したら、現在の図書館が新図書館として定着するというわけではないということで、それぞれの視点から、今回の計画に要望等を出していただければ、2月末の計画で詰めた話ができるというものです。

(大野委員)

今の話を受けまして、私は本当に新図書館を希望しているので、必要最低限の改修のみにとどめて、床スラブ等の補強に費用をかけるのではなく、今あるなかでパーテンションを外すくらいの形で、A案の児童室のコーナーの拡充をして欲しいと思います。

(土岐会長)

という要望があげられました。蔵書問題で、増冊に伴う書架面積拡大での、床の補強は建築法上避けられませんが、費用を最小限にとどめるという意見もありました。他に意見はありますか。

(高橋委員)

A案、B案を見まして、B案のように、児童コーナーを一般書架から離さない方がいいと思います。但し、B案は一階なので、ベビーカーを押しながら来館される方、障がい者の方にはメリットがあります。書庫について蔵書数の問題もありますが、隔離された場所に、児童コーナーを置くのは、やめた方がいいと思います。

(石川委員)

私は、高齢者に優しい図書館づくりという観点から、話を聞いていましたが、別府市での教育効果、費用対効果もしっかり考えなければならないと思います。教育効果の観点で、色々なコーナーの設置場所について意味があると思います。小中学校との連携を視野に入れながらの考慮が必要ではと考えています。

(土岐会長)

各学校図書館、公民館との連携については、十分配慮して検討するとします。

(秋月委員)

現状の図書館はいくつかの課題を抱えております。その中で、私は駐車場の整備をしたいと考えています。今回の改修計画が、駐車場の問題を解決した便利のいい新しい図書館建設の議論と別であるという理解で話しますと、まず耐震補強はどうか。

(本田課長)

現在の市立図書館の施設は新耐震です。

(秋月委員)

そうであれば、費用はあまりかからず効果が上がる改修を行い、近い将来、新しい立派な図書館が出来ればいいと考えています。

(本田課長)

あまり改修の事業費をかけますと、新しい図書館は不要だというような受取られ方をされかねません。市教委のなかでは、最小の経費で最大の効果が上がるようになっていますが、最大の効果がどういうことだという、データを持っておく必要があるので、今回の協議会による基本計画の策定となった次第です。

(土岐会長)

今のままでの協議会で再三話合ってきましたが、駐車場が完備されない限り、現在の図書館でいいという話は、委員の皆様や市民からの賛同は得られません。

しかし、何もしないでこのままでいいかといっても、よくはありません。新図書館を目指しながら、現状でできる範囲の中で、話は進んでいると私は理解しています。今回の、計画案に対して、要望を出し、集約できれば、予算の折衝に影響されるのではないかと思います意味で、今日の協議会になっています。

図書館側として、何かご意見ないですか。

(岩本館長)

今回の計画案が、基本設計にかかるものではないことを委員の皆様にお伝えします。基本計画に基づいて、当局がいくら費用がかかるのかによって、するかしないのかを決めます。

新しい図書館については、協議会の一番の希望であることは存じております。現在の図書館で改善すべき問題を一步でも前に進めるための改修ですが、費用がいくらかかるのか、また改修したら、市は暫く図書館について考えなくなる心配もあります。

図書館としては、蔵書数を少しでも増やし、駐車場の問題を解決し、市民の皆様が使いやすい図書館と考えています。

(土岐会長)

他に委員の皆様から何かありますか。

《なし》

(土岐会長)

それでは、報告第1号についてはこの程度にいたしまして、次に「報告第2号平成24年度図書館運営状況」に入りたいと思います。では事務局の説明をお願いします。

(岩本館長)

今日の資料配布について、急遽配布となったことをお詫び申し上げます。運営状況に入る前に、委員の皆様にご理解いただきたい件がございます。

昨年度二月、第二回協議会で今年度図書館協議会のスケジュールのなかで、「別府市立図書館の目指すべき方向とサービスについて」の原案について提示するとなっておりましたが、結論からいいますと、「別府市立図書館の目指すべき方向とサービスについて」、延期させていただきたいと思います。

その理由は、ただ今説明であったように、市立図書館の改修計画の策定が直接改修に繋がるのではなく、基本計画に基づき改修の必要性を判断するとなっています。通常は、基本計画、基本設計、実施設計、改修となりますがそこまでいかないということです、図書館として、もう少し方向性を見極めてから目指すべき方向としての原案を提出したいと思います。

基本計画には、平成27年度には住民一人当たり1.77冊となっていますが、現在の所蔵数は約17万冊ですが、これが21万冊を超えることになります。しかし、現施設の所蔵の限界冊数が約15万冊となっています。よって、残りの6万冊はどうするのか、またどういう形にするのかは、改修計画が出来てからでないと分からないので、ご理解していただき、改修計画案の目途が立ってから提出させていただければと思っております。

(土岐会長)

ただ今、事務局より「別府市立図書館の目指すべき方向とサービスについて」の原案について延期の申し出がありましたが、この件についてご意見はございませんか。

《意見なし》

(土岐会長)

それでは、「別府市立図書館の目指すべき方向とサービスについて」の協議を延期することと致します。

事務局引き続き説明をお願いいたします。

(岩本館長)

資料（第2回 別府市立図書館協議会）にて報告。（P8以降参照）

【石川委員・秋月委員退席】

(土岐会長)

事務局の説明で、平成24年度から、祝日開館をはじめ、近隣市町村住民へ貸出対象の拡大、マスコットキャラクターの導入、スタンプラリー等運営上の努力をされていることが報告されましたが、ご質問・ご意見はございませんか。

≪意見なし≫

(土岐会長)

それでは、今回の協議会は、施設改修基本計画の報告にあわせての図書館運営状況の説明でした。以上をもちまして本日の報告事項は終了させていただきます。

教育委員会の皆様から特に意見等ございますか

(本田課長)

先程の説明にて改修基本計画策と、平成24年度市立図書館運営状況について報告しましたが、また報告することがあれば、図書館協議会にご相談したいと思います。

(土岐会長)

委員の皆様から特に意見等ございますか

(立川委員)

今日欠席した委員の方にも資料配布を依頼し、意見を聞いてください。今回の計画案について短時間で済ませる話の内容ではないので、持ち帰り検討したいです。もっと時間をかける必要があります。

(土岐会長)

協議会の日程の調整、資料配布の不備等がありましたが、校長会、教育長の日程調整があつてのことだと思います。

(本田課長)

また改めてご意見があれば、期限を決めさせていただきますが、館長の方にご相談してもらえばと思います。それをこちらの方でとりまとめをして、図書館総研にお伝えします。今回の会議について、日程・資料等にてご迷惑をかけて申し訳ありませんでした。

(土岐会長)

これからの協議会について、慎重に会議の日程・資料等の準備をしてほしいと思います。これからの市立図書館が、どうなっていくのか心配があります。協議会が発足して、三年経ちますが、何か方向性が見えてくればいいですが、そうではありません。かといって、現状のままでいいかとなると、それでは悪く、いつまでにと約束が見えない段階では、今の状況を少しずつ改善していかなければなりません。そうすると、市有地、市の施設の有効利用等がありますが、やはりこういったことは、トップダウンで決めていかないと、決まらないのではないかと思います。

協議会は、諮問機関であるので、市長に要望を出していくこともひとつの手段かなと思います。そのためにこれから委員の皆様が集まってもらい、要望書を出すという話合いもしたいと思っています。

それでは、これをもちまして閉会致します。